

災害時に町民のみなさんに実践していただきたい「命を守る行動・知識」を毎月お伝えしていきます。

6月は「土砂災害防止月間」です。

近年、数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨や大型の台風の上陸により、全国各地で山腹崩壊、崩壊土砂の流出などの土砂災害が多発しています。




町内でも、令和4年9月23日から24日の台風15号による影響で累計雨量346mmを記録し、至る所で土砂災害が発生しました。

災害からご自分やご家族の命を守るためには、事前の準備と早めの避難行動が大切です。

土砂災害の前兆現象

雨が1時間に20mm以上、または降り始めから80mm以上になったら要注意です。

下記のような現象がみられた場合は、早めの避難を心がけましょう。

	がけ崩れ	地すべり	土石流
土砂災害の種類			
特徴	斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然崩れ落ちる現象。崩れ落ちるまでの時間がごく短いため、人家の近くでは逃げ遅れも発生し、人命を奪うことが多い。	斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象。土塊の移動量が大きいので、甚大な被害が発生する。	山腹や川底の石、土砂が長雨などによって一気に下流へと押し流される現象。時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを崩壊させてしまうこともある。
主な前兆現象	<ul style="list-style-type: none"> ・がけにひび割れができる ・小石がパラパラと落ちてくる ・がけから水が湧き出る ・湧き水が止まる、または濁る ・地鳴りがする 	<ul style="list-style-type: none"> ・地面がひび割れや陥没する ・がけや斜面から水が噴き出す ・井戸や沢の水が濁る ・地鳴り、山鳴りがする ・樹木が傾く ・亀裂や段差が発生する 	<ul style="list-style-type: none"> ・山鳴りがする ・急に川の水が濁り、流木が混ざり始める ・腐った土の匂いがする ・降雨が続くのに、川の水位が下がる

早めの避難行動を

気象庁から土砂災害警戒情報などが発表された場合、昼夜を問わず、かわねフォンや屋外放送などで住民の皆さまへお知らせします。役場から「高齢者等避難」「避難指示」が発令された場合には、自らの身を守るための行動をお願いします。

警戒レベル5は、安全な避難ができず命が危険な状況です。緊急安全確保の発令を待ってはいけません。	警戒レベル	住民が取るべき避難情報など	目安の気象情報
「避難勧告」は廃止されました。これからは警戒レベル4避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。	5	緊急安全確保 ※1	大雨特別警報
	～（警戒レベル4までに必ず避難！）～		
	4	避難指示	土砂災害警戒情報
	3	高齢者等避難 ※2	大雨警報 洪水警報
	2	ハザードマップなどで避難行動を確認	大雨洪水注意報
避難に時間がかかる高齢者や障がいのある方は、警戒レベル3高齢者等避難で危険な場所から避難しましょう。	1	災害に対する心構えを高める	早期注意情報

※1 町が災害の状況を確実に把握できるものではないので、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 警戒レベル3は高齢者以外の方も危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

日ごろから家の周りなどの危険箇所の状態に注意しておきましょう。また、避難場所や安全な避難経路の確認も重要です。

ハザードマップで
ご自宅付近の土砂
災害警戒区域が確
認できます。



次回は「大雨、台風接近時の備え」を掲載予定

危険・浸水箇所 【問】建設課・建設事業室 ☎(56) 2227
避難場所・防災 【問】総務課・自治防災室 ☎(56) 2220

内装&外装 塗装工事一式
なかむら塗装

静岡県知事許可 第25802号

川根本町徳山936
TEL・FAX 0547-57-2840
二代目代表 中村 剛子(なかむら たかね)

ご相談やお見積もりは無料です。お気軽にお声掛けください。